

2022年度 第8回長崎大学臨床研究審査委員会議事概要

一 日 時 令和4年11月21日(月) 16:00~16:40

二 場 所 第一会議室(中央診療棟二階)

三 委員リスト

	氏名	性別	所属	構成要件	出欠
委員長	福島 千鶴	女	長崎大学病院臨床研究センター	1	○
副委員長	住田 吉慶	男	長崎大学生命医科学域	2	○
委員	三浦 清徳	男	長崎大学生命医科学域	1	×
	鵜飼 孝	男	長崎大学病院口腔管理センター	1	○
	崎村 千香	女	長崎みなとメディカルセンター	1	○
	川島 陽介	男	弁護士法人ふくざき法律事務所	2	○
	福崎 龍馬	男	弁護士法人ふくざき法律事務所	2	×
	飯田 由紀子	女	一般	3	○
	山下 俊男	男	一般	3	○

・構成要件:

- 1 医学又は医療の専門家
- 2 臨床研究の対象者の保護及び医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家又は生命倫理に関する識見を有する者
- 3 1及び2に掲げる者以外の一般の立場の者

・開催要件:

- 1 5人以上の委員が出席していること
- 2 男性及び女性の委員がそれぞれ1人以上出席していること
- 3 構成要件に掲げる委員がそれぞれ1人以上出席していること
- 4 同一の医療機関(当該医療機関と密接な関係を有するものを含む。)に所属している者が半数未満であること
- 5 本学の職員以外の者が2人以上含まれていること

四 列席者 天本薬剤師(臨床研究センター)、白石歯科医師(口腔管理センター)、青田室長補佐、松本主査、矢野課員、吉田課員、松尾課員(総務課)

五 議事

1. 開催要件の確認および委員の利益相反について

福島委員長より長崎大学臨床研究審査委員会規程第7条の開催要件を満たしていることにより委員会が成立した旨報告が行われた。

続いて、審査対象の研究に関して委員の利益相反が生じないことが確認された。

2. 2022年度第7回長崎大学臨床研究審査委員会議事概要について

福島委員長より2022年度第7回長崎大学臨床研究審査委員会議事概要について報告があり了承された。

3. 臨床研究にかかる審議について

《新規審査》

(1) 根尖部の穿孔修復における Mineral Trioxide Aggregate の有効性に関する2群間並行ランダム化比較試験

・実施計画提出日：2022年11月2日

・実施計画を提出した研究責任（代表）医師：松裏 貴史（長崎大学病院 歯科保存治療室）

福島委員長から上記課題について説明があり、研究責任医師である松裏助教から申請内容について説明があった。

[質疑応答]

・MTAは昔から広く使用されているとあるが、根尖破壊歯への適用は認められていないのか。（構成要件：1）

→破壊の有無にかかわらず歯根の治療には適用されていない。

・MTAは適応外使用とのことだが、保険診療で行う旨が記載されている。（構成要件：1）

→対象歯自体は保険適用である感染根管である。

・保険診療で通常通り算定していくとのことか。（構成要件：2）

→感染根管治療は保険対象であるが、MTAを感染根管治療の根尖部に使用することは保険適用外となる。患者さんには保険適用となる治療費を負担してもらい、使用する薬剤費については製薬企業からの研究費で賄う。

・術後1年目における生存率とは患者さんの生死のことか。（構成要件：1）

→治療対象の歯のことである。

・有害事象についての評価や交通費の提供について、同意が得られればと記載があるが、研究参加の同意とは別にこれらの同意を得るのか。（構成要件：1）

→それぞれ別に同意を得るつもりである。

・評価者盲検の評価者とは研究者のことか。（構成要件：2）

→CT撮影を行い体積で評価を行うが、体積の測定は術者以外の研究協力者が行うため評価者盲検とした。

・スケジュール表に記載の治療日とは充填をする日か。充填をする日であれば登録や同意取得は根管治療中となるか。（構成要件：2）

→治療日は充填を行う日のため、登録や同意取得は根管治療中に行う。

・根管治療中の成績である程度研究の成果がわかるのではないか。（構成要件：2）

→対象歯で根尖破壊のサイズも異なるため、ある程度成果がわかることもあるが、症例数を集めるため限定しないこととした。

・一口腔内に複数対象歯がある場合も考えられるが、一人の患者さんにつき1例とするのか。（構成要件：2）

→一人の患者さんにつき1例とする。

・割り付け因子に、穿孔の直径（0.5mm以上/0.5mm未満）とあるが、何か基準はあるのか。（構成要件：1）

→論文を参考に設定した。

・CBCT画像上の病変の縮小とは、どの程度のことか。（構成要件：1）

→体積を数値化し、わずかでも減少していれば縮小とする。

・計測の精度にもよるが、わずかではなく、ある程度縮小の幅を決めることを検討いただきたい。（構成要件：1）

→検討する。

・根尖部の穿孔であり、根尖孔から外れているものは含めないのか。（構成要件：1）

→含めていない。

【審議】

技術専門員の意見を参考に審議を行い、以下の通り指摘事項があった。

実施計画

・1. (2) 研究責任医師の連絡先および研究に関する問い合わせ先、Address欄に記載の郵便番号を削除すること。（構成要件：1）

・2. (1) 主たる選択基準⑥の不要な改行を削除すること。（構成要件：1）

・2. (1) Inclusion Criteriaの欄は「主たる選択基準」と対応するように記載すること。（構成要件：1）

・2. (1) 主たる除外基準③、⑦の不要な改行を削除すること。（構成要件：1）

・2. (1) Exclusion Criteriaの欄は「主たる除外基準」と対応するように記載すること。（構成要件：1）

研究計画書

・目次 20.5 研データの共用の「研」を削除し、「共用」を「共有」へ変更すること。（構成要件：1）

・2. 「技術の未熟な歯科医師が」を削除し、「根幹治療を行う際の合併症のひとつに」等の文章へ変更すること。（構成要件：1）

・4.2 術後1年目における生存率とは歯に関することである旨を記載すること。（構成要件：1）

・4.6 スケジュール表の内容を同意説明文書と統一すること。（構成要件：1）

・4.6※2 「患者の同意が得られれば」を削除すること。（構成要件：1）

・4.6 スケジュール表と研究で収集する項目の内容を統一し、収集の方法等も記載すること。（構成要件：1）

- ・ 8.3 有害事象は皮膚に限ったことではないため、カッコ書きの文章を削除すること。（構成要件：1）
- ・ 9. 一例は対象歯ではなく一人の患者さんであることを明記すること。（構成要件：2）
- ・ 10.1 4)「廃棄」を「削除」へ変更すること。（構成要件：1）
- ・ 10.4 主解析 病変の縮小について、わずかでも減少していれば縮小とするのではなくある程度縮小の幅を決めることを検討すること。（構成要件：1）
- ・ 10.4 主解析 ITT での解析を検討すること。（構成要件：1）
- ・ 10.4 主解析 Wilcoxon の符号付き順位検定は主要評価項目に当てはめることはできない。また、主解析は1つの解析方法のみが良いため再考すること。（構成要件：1）

同意説明文書

- ・ 3. 根尖性歯周炎のイラストを追加すること。（構成要件：3）
- ・ 3. 「予後不良」「生体親和性」をわかりやすい文言へ変更すること。（構成要件：3）
- ・ 3. 「歯の内部の神経」の後にカッコ書きで「歯髄」を追記すること。（構成要件：2）
- ・ 5. (2) 「骨透過像」を「エックス線検査で骨透過像（骨吸収）」へ変更すること。（構成要件：2）
- ・ 5. (4) スケジュール表の内容を研究計画書と統一すること。（構成要件：1）
- ・ 5. (4) ※2 「患者さんの同意が得られれば」を削除すること。（構成要件：1）
- ・ 5. (5) 術後痛アンケート調査の後に記載の「(VAS 値)」を削除するか、アンケート用紙に「VAS 値」を追加し、同一のものであることがわかるようにすること。（構成要件：1）
- ・ 5 (5) 術後1年目における歯の生存率について追記すること。（構成要件：1）
- ・ 17. 根管充填用シーラー (Bio-C Sealer) についても提供を受ける旨を追記すること。（構成要件：1）
- ・ 18. 研究資金の提供を受けることについて追記すること。（構成要件：1）

モニタリング手順書

- ・ バージョン番号が表紙に表示されるように位置を調整すること。（構成要件：1）
- ・ 1. 「～の有効性に関する」の後の改行を削除すること。（構成要件：1）
- ・ 【症例モニタリング】同意取得時の対象症例について、それぞれの群より選出することを検討すること。（構成要件：1）
- ・ モニタリング担当者名簿を提出すること。（構成要件：1）

【審議結果】

指摘事項に従って修正された文書を確認する必要があり、出席委員全員一致により継続審査とした。

《変更審査》

(1) 自閉スペクトラム症患者の全身麻酔後に起こる睡眠障害の発症に対するラメルテオンの予防効果に関する検討

- ・変更審査依頼日：2022年10月31日
- ・研究責任（代表）医師：鮎瀬 卓郎（長崎大学病院 麻酔・生体管理科）

【審議】

変更内容について確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(2) エタネルセプト先行品投与中で臨床的寛解または低疾患活動性にある関節リウマチ患者を対象としたエタネルセプトバイオシミラーへの切り替えの有効性に関する多施設共同前向き試験

- ・変更審査依頼日：2022年10月27日
- ・研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

【審議】

変更内容について確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(3) アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブ治療による発汗機能を評価するオープンラベル介入臨床研究

- ・変更審査依頼日：2022年10月28日
- ・研究責任（代表）医師：竹中 基（長崎大学病院 皮膚科・アレルギー科）

【審議】

変更内容について以下の通り指摘事項があった。

新旧対応表

- ・研究計画書 変更前の作成日を「2022年7月10日」へ修正すること。（構成要件：1)
- ・同意説明文書 18-6 変更前欄に森寄医師の連絡先まで記載すること。（構成要件：1)
- ・様式 A 変更前後の「作成日：」の有無を統一すること。（構成要件：1)

【審議結果】

指摘事項に従って修正された文書を確認する必要があり、出席委員全員一致により継続審査とした。

(4) 従来型抗リウマチ薬抵抗性関節リウマチ患者を対象としたフィルゴチニブ単剤治療のインターロイキン 6 阻害薬単剤治療に対する有用性の非劣性を検証する多施設共同ランダム化比較試験

・変更審査依頼日：2022年11月11日

・研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

【審議】

変更内容について確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断されたが、COI未提出の施設については共同研究機関より削除することとし、出席委員全員一致で承認された。

《不適合報告》

(1) 肺 MAC 症及び慢性肺アスペルギルス症に対する FDG-PET を用いた疾患活動性評価の探索的研究

・報告日：2022年10月17日

・研究責任（代表）医師：高園 貴弘（長崎大学病院 呼吸器内科）

【審議】

同意書の版数違いに関する重大な不適合について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断されたが、次回定期報告時に経過を報告することとし、出席委員全員一致で承認された。

(2) 生体肝移植術後患者に対する電気刺激療法及び分岐鎖アミノ酸製剤内服によるランダム化比較試験

・報告日：2022年10月21日

・研究責任（代表）医師：宮明 寿光（長崎大学病院 消化器内科）

【審議】

モニタリングの未実施／研究医師以外の IC・評価等／同意書紛失に関する重大な不適合について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断されたが、しかるべき対応を行ったうえで不適合報告書第2報を提出することとし、出席委員全員一致で承認された。

(3) 妊娠後骨粗鬆症に対するカルシウムサプリメント投与が内分泌環境と骨微細構造に与える影響に関する研究

・報告日：2022年10月21日

・研究責任（代表）医師：三浦 清徳（長崎大学病院 産婦人科）

【審議】

研究医師以外の IC 取得に関する重大な不適合について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断されたが、次回定期報告時に経過を報告することとし、出席委員全員一致で承認された。

(4) 妊娠後骨粗鬆症に対するカルシウムサプリメント投与が内分泌環境と骨微細構造に与える影響に関する研究

- ・報告日：2022年10月21日
- ・研究責任（代表）医師：三浦 清徳（長崎大学病院 産婦人科）

【審議】

CRB で承認されていない調査票に関する重大な不適合について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断されたが、速やかに変更審査を提出することとし、出席委員全員一致で承認された。

(5) 妊娠後骨粗鬆症に対するカルシウムサプリメント投与が内分泌環境と骨微細構造に与える影響に関する研究

- ・報告日：2022年10月21日
- ・研究責任（代表）医師：三浦 清徳（長崎大学病院 産婦人科）

【審議】

選択基準を満たしていない患者の同意取得に関する重大な不適合について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断されたが、速やかに変更審査を提出することとし、出席委員全員一致で承認された。

(6) 妊娠後骨粗鬆症に対するカルシウムサプリメント投与が内分泌環境と骨微細構造に与える影響に関する研究

- ・報告日：2022年10月24日
- ・研究責任（代表）医師：三浦 清徳（長崎大学病院 産婦人科）

【審議】

スケジュール以外の調査票（評価）に関する重大な不適合について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断されたが、次回定期報告時に経過を報告することとし、出席委員全員一致で承認された。

(7) 妊娠後骨粗鬆症に対するカルシウムサプリメント投与が内分泌環境と骨微細構造に与える影響に関する研究

- ・報告日：2022年10月24日

- ・研究責任（代表）医師：三浦 清徳（長崎大学病院 産婦人科）

【審議】

研究計画書の変更申請失念に関する重大な不適合について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断されたが、次回定期報告時に経過を報告することとし、出席委員全員一致で承認された。

《定期報告》

(1) 静脈麻酔中の内視鏡的逆行性胆道膵管造影患者を対象とした Nasal High Flow による高二酸化炭素血症防止に関する検討

- ・報告日：2022年10月20日
- ・研究責任（代表）医師：鮎瀬 卓郎（長崎大学病院 麻酔生体管理科）

【審議】

実施状況について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(2) 静脈麻酔中の内視鏡的粘膜下層剥離術患者を対象とした Nasal High Flow による高二酸化炭素血症防止に関する検討

- ・報告日：2022年10月20日
- ・研究責任（代表）医師：鮎瀬 卓郎（長崎大学病院 麻酔生体管理科）

【審議】

実施状況について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(3) Dexmedetomidine を用いた鎮静中の内視鏡的逆行性胆管膵管造影患者を対象とした Nasal High Flow による鎮静度の安定化に関する検討

- ・報告日：2022年9月25日
- ・研究責任（代表）医師：鮎瀬 卓郎（長崎大学病院 麻酔生体管理科）

【審議】

実施状況について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(4) 自閉スペクトラム症患者の全身麻酔後に起こる睡眠障害の発症に対するラメルテオンの予防効果に関する検討

- ・報告日：2022年10月20日
- ・研究責任（代表）医師：鮎瀬 卓郎（長崎大学病院 麻酔・生体管理科）

【審議】

実施状況について報告があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

《終了通知》

(1) 膠原病患者における定量的軸索反射性発汗試験(QSART)を用いた発汗機能の探索的観察研究

・報告日：2022年10月21日

・研究責任（代表）医師：芦田 美輪（長崎大学病院 皮膚科アレルギー科）

【審議】

研究終了について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

《軽微変更通知》

(1) アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブ治療による発汗機能を評価するオープンラベル介入臨床研究

・通知日：2022年10月5日

・研究責任（代表）医師：竹中 基（長崎大学病院 皮膚科・アレルギー科）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(2) 関節リウマチ患者におけるエタネルセプトバイオシミラーの有用性を関節超音波、臨床的指標および血液バイオマーカーで評価する多施設共同前向き試験

・通知日：2022年10月3日

・研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(3) レミケード投与中で臨床的寛解にある関節リウマチ患者を対象としたインフリキシマブBSへの切り替えのレミケード継続投与に対する臨床的非再燃の維持における非劣性を検証する多施設共同前向き試験

・通知日：2022年10月3日

・研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(4) インフリキシマブ BS 投与中で臨床的寛解または低疾患活動性にある関節リウマチ患者を対象としたインフリキシマブ BS 休薬における臨床的非再燃の維持ならびにインフリキシマブ BS 再投与の有効性・安全性に関する多施設共同前向き試験

・通知日：2022年10月3日

・研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(5) 膠原病患者における定量的軸索反射性発汗試験(QSART)を用いた発汗機能の探索的観察研究

・通知日：2022年10月18日

・研究責任（代表）医師：芦田 美輪（長崎大学病院 皮膚科アレルギー科）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(6) メトトレキサート (MTX) 抵抗性関節リウマチ患者を対象としたウパダシチニブ+MTX併用による臨床的寛解達成および臨床的寛解達成後の MTX 休薬における臨床的非再燃の維持を評価する多施設共同前向き試験

・通知日：2022年10月18日

・研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(7) ローヤルゼリー内服が血液透析患者の血管内皮細胞機能に与える影響に関する臨床研究：酸化ストレス、マクロファージ活性化、血管内皮幹細胞の役割に注目した2重盲検無作為化試験

・通知日：2022年10月28日

・研究責任（代表）医師：大庭 康司郎（長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(8) 下顎両側遊離端部分床義歯に対するクリームタイプ義歯安定剤の有効性に関する研究

・通知日：2022年11月1日

・研究責任（代表）医師：村田 比呂司（長崎大学病院 義歯補綴治療室）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(9) 頭頸部癌放射線治療後の口腔乾燥に対する唾液腺ステロイド洗浄の有効性の検討

・通知日：2022年11月1日

・研究責任（代表）医師：高木 幸則（長崎大学病院 歯科放射線室）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

(10) 医療・介護関連肺炎におけるラスクフロキサシン錠の有効性・安全性の検討

・通知日：2022年11月7日

・研究責任（代表）医師：迎 寛（長崎大学病院 呼吸器内科）

【審議】

軽微変更について通知があり確認した。

【審議結果】

特に否認すべき問題はないと判断され、出席委員全員一致で承認された。

《 jRCT 登録完了報告 》

(1) アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブ治療による発汗機能を評価するオープンラベル介入臨床研究

・jRCT公表日：2022年8月19日、2022年10月14日

・研究責任（代表）医師：竹中 基（長崎大学病院 皮膚科・アレルギー科）

福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。

(2) レミケード投与中で臨床的寛解にある関節リウマチ患者を対象としたインフリキシマブ BS への切り替えのレミケード継続投与に対する臨床的非再燃の維持における非劣性を検証する多施設共同前向き試験

・ jRCT 公表日：2022 年 10 月 5 日

・ 研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。

(3) 成人発症スチル病（AOSD）患者における 5-アミノレブリン酸（5-ALA）内服によるステロイドの減量作用を検討するための単群非盲検介入試験

・ jRCT 公表日：2020 年 2 月 26 日、2020 年 4 月 16 日、2022 年 6 月 25 日、

2020 年 8 月 3 日、2020 年 11 月 30 日、2021 年 10 月 29 日

・ 研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。

(4) インフリキシマブ BS 投与中で臨床的寛解または低疾患活動性にある関節リウマチ患者を対象としたインフリキシマブ BS 休薬における臨床的非再燃の維持ならびにインフリキシマブ BS 再投与の有効性・安全性に関する多施設共同前向き試験

・ jRCT 公表日：2020 年 4 月 20 日、2022 年 10 月 5 日

・ 研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。

(5) ミトコンドリア糖尿病における 5-アミノレブリン酸（5-ALA）内服による耐糖能改善効果を検討するための単群非盲検介入試験

・ jRCT 公表日：2020 年 8 月 31 日、2021 年 3 月 30 日、2022 年 1 月 5 日

・ 研究責任（代表）医師：中村 祐太（長崎大学病院 内分泌・代謝内科）

福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。

(6) 75 歳以上のインフルエンザウイルス感染症患者を対象としたバロキサビルマルボキシルの無作為化オセルタミビル対照比較試験

・ jRCT 公表日：2022 年 10 月 6 日

・ 研究責任（代表）医師：迎 寛（長崎大学病院 呼吸器内科）

福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。

(7) 関節リウマチ患者におけるエタネルセプトバイオシミラーの有用性を関節超音波、臨床的指標および血液バイオマーカーで評価する多施設共同前向き試験

・ jRCT 公表日：2021 年 10 月 29 日、2021 年 12 月 7 日、2022 年 10 月 5 日

・ 研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）

福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。

(8) メトトレキサート（MTX）抵抗性関節リウマチ患者を対象としたウパダシチニブ+MTX 併用による臨床的寛解達成および臨床的寛解達成後の MTX 休薬における臨床的非再燃の維持を評価する多施設共同前向き試験

・ jRCT 公表日：2022 年 10 月 24 日

・研究責任（代表）医師：川上 純（長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科）
福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。

（9）吸収性骨再生用材料アフィノス®およびオスフェリオン 60®の骨伝導能に関する研究：
高解像度 CT による無作為比較試験

・ jRCT 公表日：2020 年 6 月 1 日、2020 年 7 月 31 日、2022 年 7 月 4 日

・研究責任（代表）医師：尾崎 誠（大学院医歯薬学総合研究科 整形外科）
福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。

（10）増粘多糖類を含む高粘性洗口剤を用いた口腔機能向上効果の検討

・ jRCT 公表日：2022 年 11 月 1 日

・研究責任（代表）医師：楠 尊行（大阪歯科大学附属病院 高齢者歯科）
福島委員長より jRCT 登録について報告があり確認した。